



2023年11月7日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ル メ 杵 屋
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 椛 本 充 士
(コード番号 9850 東証プライム)
本 社 所 在 地 大 阪 市 住 之 江 区 北 加 賀 屋 三 丁 目 4 番 7 号
問 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 管 理 部 担 当 執 行 役 C F O
氏 名 藤 本 昌 信
電 話 0 6 - 6 6 8 3 - 1 2 2 2 (代)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2026年3月期を最終期とする中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

1. 背景および課題認識

当社グループは「食」から創業し成長してきました。「食」は文字通り「人を良くする」ものです。これからの当社グループは「人を良くする」という価値観をひとりひとりが共有し、体現していくことで、世界の人々のより良いクオリティ・オブ・ライフの実現に貢献していきます。

わが国の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行したこと等に伴い、経済活動の正常化を背景に人流及びインバウンド需要も増加し、景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等からエネルギーや原材料価格など物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

当社はこのような不透明な外部環境要因の中、2023年4月1日から2026年3月31日までを対象期間とする中期経営計画を策定いたしました。2022年4月1日に策定した新しいグループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、新しい付加価値を提供する持続可能な企業として、下記のとおり重点戦略、数値目標を定め、これらの達成に向けて注力いたします。なお、事業環境の変化に迅速に対応することは、グループ内の事業推進において最も重要であると考えており、M&Aや投資等により業績推移に相応の差異が生じると見込まれる場合には、当中期計画を見直し、再策定を行います。

2. 重点戦略

- ① グループ一丸となって事業収益のV字回復を果たすため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求します。

② 業績回復の主要な施策として、レストラン事業においては、EBITDA（償却前利益）と ROI（投資回収率）を重視し、利益が見込める新規出店・既存業態のリブランディングに投資を集中し、「そじ坊」「杵屋」に次ぐ、第3、第4の事業の柱となる業態・ブランドの育成を図ります。既存店舗においてはコロナ前の売上を目標に収益力を改善していきます。

機内食事業におきましては、関西国際空港の国際線の就航がコロナ前に戻りつつある外部環境を踏まえ、積極的な新規顧客の獲得を行うとともに、既存顧客との契約見直しや原価率の適正化に努めます。

③ グルメ杵屋グループの将来の展望を明確にし、次世代に向けた事業構造構築にチャレンジしてまいります。

3. 数値目標

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
連結売上高	36,466	39,593	40,000
連結経常利益	▲51	609	1,000

以上